



THE Y'S MEN'S CLUB OF AIZU
会津ワイズメンズクラブ
CHARTERED ON FEB. 1993



《 例会 》 毎月第 2 水曜日 19:00~21:00 若松栄町教会 (☎ 0242-27-3944)

2015~2016 年度主題

International President : Wichan Boonmapajorn (Thailand)
"Mission with Faith" 「信念あるミッション」
Asia Area President : Edward K. Wong (Singapore)
"Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕しよう」
東日本区理事 渡辺 孝 (甲府) 主題 : 「原点に立って、未来へステップ」
北東部部長 中川典幸 (仙台) 主題 : 「今と原点を融合して未来へ」
会津クラブ会長 高橋京子 主題 : 「継続は力・手をつないで前へ」

No.250 会津通信)
2016 年 2 月 24 日発行

会 長 高橋京子
副会長 高橋眞美
書 記 高橋真人
会 計 高橋真人

◇2月の聖句◇

そこで、人々はイエスにその地方から出て行ってもらいたいと言い出した。

マルコによる福音書 5 章 17 節

2月例会プログラム

日時 ; 2016 年 2 月 10 日(水)19 : 00~

会場 ; 若松栄町教会

司会 ; 高橋眞美メン

- | | |
|---------------------------------------|---------|
| 1. 開 会 点 鐘 | 高橋京子会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. 会長あいさつ | 高橋京子会長 |
| 4. 連 絡・報 告 | |
| 5. 聖 句 朗 読 | |
| 6. 食前感謝 | |
| 7. 会 食 | TOFに捧げる |
| 8. 協 議 | |
| 9. Happy Birthday! Happy Anniversary! | |
| - あかべこ - | |
| 10. 閉 会 点 鐘 | 高橋京子会長 |

ちゃんと見えるかな？

高橋真人

最近、活字が見えにくくなってきた。シャンプーのボトルなどの表記はもうもうずいぶん前から読めない。いわゆる「老眼」ってヤツ。仕事の責任上、去年からこれまで以上にパソコンの画面を見続けることが多くなってきたように思う。画面を見ながら目を凝らしている自分がある。そりゃ目が疲れるはずだ。このままではいけない、老眼鏡を作らなければ…。まあ、これも 50 を超えれば当然生じる現象なのだろうが、しかし、そもそも極度の近視である。もう 35 年もコンタクトレンズを使ってきたので、いまさらメガネをかけ続ける生活も不便だ。とすれば、コンタクトレンズで近視を矯正しているところに老眼鏡をかけることになる。レンズにレンズを重ねてやっと見えることになるのか…。まず近視の焦点を合わせ、そして細かい字も見えるようにまた焦点を合わせる。まあ、それもハッキリと見るためには必要なこと。

そんな日常でハッキリ見ることが求められているのは私だけじゃなく、この社会に生きる一人ひとり。本質を見定めることがホントに求められている

< 1 月例会出席状況 >

在 籍 者 5 名 ゲスト 2 名
出 席 者 4 名 ネット 0 名
* 1 月例会出席率 80%
あ か べ こ 5,000 円
15-16 年度合計 21,800 円

☆ 強い義務感を持つとう 義務はすべての権利に伴う。 ☆

今日このごろ。A 倍の得意な論旨のすり替えで焦点をぼやかす策にはまっては、後悔してもしきれないことになってしまう。そうならないために、ちゃんと一つひとつの事柄にフォーカスしないとね。必要なレンズを持ち合わせなきゃ。(次号は眞美ウイメン)

2月例会報告

TOF 例会ではありますが、眞美ウイメンの美味しい手作り料理を味わい楽しい例会でした。

◇高橋眞美ウイメンの代表を務める「真珠の会」主催の「沖縄平和研修」2月15日～19日に、高橋カメンと参加されるとの報告でした。カメンは背中骨切を押しての参加です。沖縄にも福島にも犠牲を強いているこの国の有りようを、現地で問う旅となるでしょうとのこと。旅の間の健康を祈ります。



若松栄町教会のブログより(右より2人目がカメン)

◇会津放射能情報センターからの報告

・まもなく3月11日の記念日を迎える今、センターはメディアの取材を受けました。

「女性自身」朝日新聞社津総局(三重県津市)

・子ども脱被ばく裁判第4回公判が行われます。(福島地裁)2月15日 子どもの人権回復を求める裁判です。(文 高橋京子会長)

子ども脱被ばく裁判とは…?

東京電力福島第一原子力発電所の事故から4年が経過しても、子どもたちの脱被ばく政策を行わない国と福島県---

そんな国や福島県の責任を問うべく、避難者を含む約200人の福島の親子が、昨年、今年と、福島地方裁判所に提訴しました。

これが、「子ども脱被ばく裁判」です。

会津だより

2月11日～13日に開催された「第17回会津絵ろうそくまつり」を紹介します。

会津伝統工芸品の1つである、「会津絵ろうそく」。1本1本に菊、牡丹、藤などの季節の草花が色鮮やかに描かれている色鮮やかな会津絵ろうそくの製造工程は、芯づくりにはじまり、蠟かけ、かんかけ、手磨き、絵かき、上げけ、芯だし、串ぬき、とすべてが手作業で行なわれています。

1本1本に職人技が感じられる会津絵ろうそくを皆さんに知って頂こうと、このまつりを開催する運びとなりました。

1回目の絵ろうそくまつりがみぞれの降る御薬園で行なわれました。始まって30分が過ぎようとする頃、会場で誘導係りをしていたボランティアスタッフの1人がいつまでも列が途切れないことを不審に思いました。仕事を代わってもらい、入口にたどり着いたスタッフの目の前には入場を待つ傘の列がずらりと並んでいました。入場客の方々は、小さな子供さんからご年輩の方までとても幅広く、皆さんに初回から大好評をいただき、毎年開催する恒例行事となりました。



例年ですと上の画像のように雪景色に浮かぶ会津幻影を楽しむことができましたが、今年は雪がなく歩きやすかったです。こんなことは二度とないのでは?



◇ 今後の予定 ◇

◆3月例会

3月9日(水)午後7時より
「会員卓話」

◆ユニークダンス例会

3月16日(水)午後7時
場所:アガッセ

